

(1) 不登校対策について

令和7年度盛岡市総合教育会議

資料 1

1 不登校児童生徒の現状と対策

(1) 現状

盛岡市内の不登校児童生徒の出現率は、全国数値よりも下回っているものの、令和6年度の不登校児童生徒数は、令和元年度と比較して、小学校で約3.0倍、中学校で約2.0倍に増加している状況である。

表1 小学校における不登校児童数と出現率の推移

年度	市	出現率	県	出現率	全国	出現率
R1	87人	0.61%	319人	0.55%	53,350人	0.83%
R2	103人	0.74%	356人	0.62%	63,350人	1.00%
R3	146人	1.06%	471人	0.84%	81,498人	1.30%
R4	194人	1.43%	617人	1.13%	105,112人	1.70%
R5	235人	1.77%	843人	1.58%	130,370人	2.14%
R6	259人	2.00%	931人	1.78%	137,704人	2.30%

表2 中学校における不登校生徒数と出現率の推移

年度	市	出現率	県	出現率	全国	出現率
R1	227人	3.21%	958人	3.07%	127,922人	3.94%
R2	247人	3.56%	1,016人	3.32%	132,777人	4.09%
R3	275人	3.87%	1,208人	3.96%	163,442人	5.00%
R4	297人	4.25%	1,388人	4.65%	193,936人	5.98%
R5	359人	5.15%	1,616人	5.51%	216,112人	6.71%
R6	445人	6.50%	1,754人	6.13%	216,266人	6.79%

(2) 令和7年度の対策

- ア 不登校抑制の視点から、学校の風土づくりと学校の風土の「見える化」の取組など、「安心して学べる学校づくり」の充実
- イ 関係機関代表を委員とする不登校対策委員会を組織し、連携体制を構築
- ウ 人的支援や教育支援センター等を含む学びの場の拡充

2 不登校児童生徒支援プランの概要

(1) 目的

本市が抱える不登校の課題に対応した取組を整理し、学校、教育委員会及び関係機関で共有することで、不登校児童生徒の支援に資するもの。

(2) 学校の取組

安心して学べる 学校づくり

学校風土の「見える化」
児童生徒主体の授業
教育相談の充実

組織的な初期対応

小さなSOSにチーム学校で対応
ケース会議、関係機関との連携
保護者との情報共有

学びの継続支援

校内教育支援センターの充実
学校外の学びの場との連携
チーム学校による家庭環境支援

(3) 教育委員会の取組

学校づくりの支援

担当指導主事による学校訪問
学校経営ヒアリング
教育研修の充実、専門研究員研究 他

支援体制の整備

対策チームによる継続的支援
校内体制への人的支援
教育相談室での相談支援

学びの場の保障

教育支援センター「ひろばモリーオ」
「ひろばモリーオ」サテライト分室
フリースクール等との連携 他

3 ひろばモリーオ「サテライト分室」

(1) 開室の目的

校内教育支援センターやひろばモリーオ（仙北教室・青山教室）の利用が困難な状況にある不登校児童生徒等に対して、個に応じた支援や活動場所の提供を行う。

(2) サテライト分室の運営

ア 対象：市内小中学校在籍の児童生徒

イ 場所：中央公民館（1階和室）

西部公民館（2階パソコンルーム）

松園地区公民館（別館3階第2研修室）

見前地区公民館（2階研修室）

ウ 開室日：各教室 2～3日/月（9時30分～11時30分）

エ 支援員：社会教育指導員兼専門支援員

※ ひろばモリーオの教育相談員等が訪問支援

オ 活動例：学習（学習プリント、問題集、タブレット 等）

室内遊び、体験活動、読書 等

(3) サテライト分室の利用実績【10月末時点】

	小学生	中学生	保護者・教員	計
延べ人数	27人	29人	22人	78人
実人数	10人	9人	17人	36人

(4) モリーオcafé（11月13日（木）13時30分～16時 中央公民館）

ア 不登校等で不安を抱えている保護者の交流の場

イ 岩手大学准教授による講演と交流会・相談会

(参考) ひろばモリーオの通級児童生徒数【10月末時点】

場所	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	計
仙北	0	0	0	1	1	1	5	10	9	27人
青山	0	0	0	1	0	0	2	5	10	18人
計	0	0	0	2	1	1	7	15	19	45人

4 校内教育支援センターの充実

(1) 設置目的

自分のクラスに入りづらい児童生徒が、落ち着いた空間で自分に合ったペースで学習・生活できることを目的として、学校内に設置するもの。

(2) 設置状況

小学校40校中全校、中学校22校中全校に設置

(3) 運営の充実に向けた取組

ア 不登校対策相談員15名を中学校16校に配置

イ 不登校対策相談員研修会の実施（4月）

（ア）「不登校児童生徒支援プラン」等、市の取組の説明

（イ）運営上の工夫についての共通理解、好事例の紹介

ウ ひろばモリーオの教育相談員等によるアウトリーチ型支援

エ 各学校の取組

（ア）支援センター内の環境整備（レイアウト、教材、設備等）

（イ）校内の支援体制の工夫、保護者への積極的周知

(4) 利用実績（令和6年度）

欠席日数	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	計
30日以上	2	10	7	19	17	24	29	39	43	190人
30日未満	1	10	11	15	8	19	24	33	44	165人

5 フリースクールとの連携

(1) 連携の条件

ア 適切な支援・相談が行われている施設であること

イ 利用児童生徒の情報が、定期的に在籍校に提供されること

(2) 連携施設

①盛岡ユースセンター／梨木町 ④YUMEスクール盛岡校／盛岡駅前通

②盛岡ユースポート／上太田中屋敷 ⑤第一学院中等部／大通

③ぐるぐるの森／新庄、ZOOMO内 ⑥たきざわスプラ／滝沢市砂込